



## 「ネパールに行きました」

文福アルバイト 桜井 裕美子

3月22日～31日まで、NGOアジア子どもの夢代表の川淵映子さんに誘われて、「ネパール支援ツアー」に参加させていただきました。

このツアーの主旨もよく知らず、川淵さんと知り合って1週間、ヒマラヤに行けるといふ旅行感覚で、2つ返事をしてしまいました。

「気候は乾燥していて汗もかかないので着替えはいらない。極力、自分の荷物はないように」と言われ、ビックリ！トランクに20kgの物をつめ、その他10kgの物資を持って、それでも心うきうきと、セントレア空港より出発、カトマンズ空港へ…。

入国手続きに3時間もかかり、がっくりと思いきや、皆さん慣れたもの。折り紙を折り始め、まわりの外国の方々、子どもたちと触れ合い、あっという間に楽しく時間が過ぎました。

カトマンズ空港から、世界で1番危険なルクラ ヒラリ空港（TVで取り上げられていた）へ、プロペラ機で出発。

ルクラからサポーター3名で支援物資を途中のロッジまで運んでもらい、ナムチェ（3,440m）に向かう。

ロバ・牛が荷物を積み、あたりまえのように道を歩いており、私達は、荷物にぶつからないように、糞を踏まないようによけながら歩きます。よそ見をすると「グチャー」と糞を踏みます。

又、湿度が低い為、糞はすぐに乾き、風とともに便中のわら等が「ザー」と体・顔にあたり、又粉塵となります。

2日目よりマスク使用。26日ジャンボチェの丘（3,750m）に登り、遠くエベレストを望んで感激。

帰路の途中、「PRIMARI SCHOOL」にて支援活動。

子ども達に土産を渡しました。教師から「グランド横・崖にフェンスを支援して」の希望がありました。

ルクラに戻り、ネパール・日本文化交流会にてネパール国立舞踊団の踊りを観劇し、「越中おわら節」を披露してきました。（大舞台の上で恥ずかしかったです。）

カトマンズ市内小学校・リサンク村支援物資進呈式があり、その後、議員さん達と昼食会。(全く会話できず、食べるだけ)その後、世界遺産(地震の被害を受け修理中)見学。帰路に着く。

アジアの国々への支援をされている方々がおられることを知り、又、支援を待っている子ども達がいる事を知りました。

1人では何もできませんが、又、お誘いがあれば喜んで協力したいと思っております。



ナムチェ



子どもたちと



荷物を運ぶロバ



## 「ひるからカラオケ」報告

突然ですが、とある人から「昼間にカラオケをやりたい」という要望があり、7月29日（日）猛暑真ただ中、「JOYSOUND山室店」にて「ひるからカラオケ」を行いました。

夏休み期間中の昼間ということで希望者が多く、広い部屋を借りまして、参加された人数は23名と大所帯となりました。

手作りのサンドイッチと鶏の唐揚げを持ち込んで、全員が歌えるようにマイクを順番に回す。夕方まで何回回って歌ったことでしょう。

数人で舞台上がって歌って踊り、絶叫したり、デュエットしたり、選曲を楽しんでいたりと最後までとってもにぎやかでした。

古くは美空ひばりさんの曲から、今時のアニメソングまで、様々な曲が流れて楽しめたのではないかと思います。

初参加の方が数人、このイベントをきっかけに夢宙人のことを初めて知った方もおられました。

参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

今後とも夢宙人企画をよろしくお願いたします。



## 「私の今年の夏は冬みたいな夏だった」

八木勝自

まず、平成最後の今年の日本は一体どうなっているのだろうと思う。異常気象のことです。

いくつもの大型台風に大雨、各地での大きな地震の被害があり、この原稿を9月9日に書いている2、3日前にも北海道で大きな地震があって、人命や北海道の全域で電気やガス、水道などと言った生活ライフが止まってしまい甚大な被害を与えています。

この地震はともかく、自然災害は地球温暖化のせいだと言われています。

地球温暖化とは何かと言えば、人々が使う石油とか石炭と言った化石燃料から出るCO<sub>2</sub>と言う物質によって、本来地球から出ていく太陽の熱が徐々に出て行かなくなって、地球の温度もこれまた徐々に上がって行き、それによって、地球温暖化が起きて、異常気象が起きるというものです。

しかし、異常気象が起きるのは地球温暖化のCO<sub>2</sub>などだけではなく、その1つの原因として私は今話題になっているマイクロプラスチックの問題もあると思うのです。マイクロプラスチックの問題はプラスチックのゴミが海まで流れて、それが波や色々な原因で細かくなって行き、目にも見えない大きさになって、魚などが飲み込んだり食べたりして、回り回って人間にも悪影響を与えるのではないかとされているものです。それを私は海にマイクロプラスチックが漂うと、主に太陽によって暖められた熱が溜まって、海温が上がって大型台風などが起こって異常気象が起きるのではないかと思うのです。

まあ、話しは長くなってしまいましたが、ともかく今年の夏は暑かったです。歳のせいもあるかもしれませんが、例年の夏ならどんなに暑くても外に出て、色々動いているわけですが、今年は外に車イスで出かける度に日射病のような症状になって頭がふらふらになってしまいました。

そして、これでは「いけない」と思って、暑くなるような日(これは毎日だったのですが、)は天気予報を見て、33 度以上の日は外に出ないようにしていました。しかし、それは毎日続き、結局は外出は週に 1 回程度の車で事務所に行くことと、夜の 10 時くらいになって外に出ても大丈夫程度になってから、その時間帯はどこのスーパーやお店も閉まっているので、家から近くのコンビニに買い物に行く程度でした。

そしてそれらのことで思ったことは「今年の夏は冬に雪が降って豪雪になって、車イスで外に出れなくなったのと同じだなあ」と思ってしまいました。

報道関係のマスコミでも今年のこれだけの「猛暑」で多数の人たちが日射病で死んだり、入院しているのだから災害だと言っていますが、私もその通りだと思います。

これからの日本の夏はいったいどうなるのだろう。大分心配です。



## k a o k a o の つ ぶ や き №6



今年の夏は身体が溶けてなくなるほど暑かったですね。

私は生まれて初めて熱中症になりました。熱が出て吐き気がして、おトイレの回数が無茶苦茶増え、皆さんに本当に迷惑をかけました。点滴をうち静養していましたが、なかなか微熱がひかず 3 泊 4 日で入院しました。その入院先は S 病院で老人病院でした。

入院したというのに治療らしい治療はなく、寝ているだけの入院生活でした。この入院で本当によく眠りました。熱中症になった原因は、前回も書きましたが、旧優生保護法関連の取材の疲れも原因の一つになったかと思っています。自分では大丈夫だと思っていた取材でも、「かなり心身ともに負担だったのだなあ。」と今更ながら思いました。

病院では若い介護士さんから「婆ちゃん」と言われ、ちょっとむかつきました。その介護士さんは私だけではなく、患者の皆さんに「婆ちゃん、爺ちゃん」と呼んでいるのを聞いて、私はちょっと不愉快な思いになり、某看護師さんに「みんなを爺ちゃん、婆ちゃんと呼ぶのはおかしいのではないか、名前で呼んだ方が良いと私は思います。」と言ったら、「そうだね。また上に言っとくね。貴重な意見ありがとうね。」と言われました。

どんなに歳を重ねても、何もわからないように見える認知症の方でも意思はあるし、「爺ちゃん、婆ちゃん」という呼び方は、病院職員が患者さんと呼ぶのにはふさわしくないと私は思いました。

生まれて初めて熱中症になり、水を飲む事と塩分を摂る事の大切さを知り、そして老人病院に入院し、病院の実態、胃ろうをしている人の多さに驚きました。正直もう絶対この病院には入院したくないと思い、健康に注意し、バランスの良い食事をし、適度な水分と夏は塩分も摂り、自分の身体を過信せず生活をしていかないと、もう若くないのだから、だめだなあと心から思った今年の夏でした。

2018 年 8 月 31 日 記

文福学習会第3回 **なぜ、障害者は子どもを産むことを許されないのか!?**

# 優生思想と現代

講師 **利光 恵子** さん

立命館大学生存学研究センター客員研究員

## ● 障害者の立場から「強制不妊手術」を考える

旧優生保護法のもと、強制不妊手術を強いられた被害者が国を提訴、その責任を追及しています。法律がなくなってから 20 年以上過ぎて、なぜ今?といわれますが、当事者の粘り強い訴えによるものです。無視し続けたのは私たち社会。被害者はこの富山県でも 96 人いると報告されています。しかし、被害者はそれだけではありません。

## ● 少子社会と優生思想—新型出生前診断

障害をもつ子を産むことは、許されないのか?

日本産科婦人科学会は、批判が根強いにもかかわらず、「新型出生前診断」の本格実施に踏み切る方針を固めました。優生思想は、当然のごとく社会に浸透し、命の選別が行われています。そして、産む・産まないは女性に委ねられがちです。

### 利光 恵子 (としみつけいこ) さんプロフィール

1953 年生まれ。立命館大学生存学研究センター客員研究員。女性障害者への強制不妊手術問題に関する第一人者。

著書:『戦後日本における女性障害者への強制的な不妊手術』『受精卵診断と出生前診断—その導入をめぐる争いの現代史』他論文多数

日時 **11 月 10 日(土)13:30~**

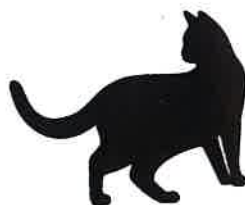
場所 **サンフォルテ 303号室**

参加費 **500円**

主催 **NPO 法人 文福**

〒930-0887 富山県富山市五福 3734-3

076-441-6106





運営会議報告 8月21日現在

各部の報告

★学習会

旧優生保護法についての連続学習会第三回が 11 月 10 日 (土)  
サンフォルテ 303 号室 13 時半講演開始 講演者 利光 恵子さん

★障害者部会

8 月 4 日 DPI 日本会議集會に文福スタッフ三名参加  
JDF 日本障害フォーラム TDF パネルディスカッションに二名参加  
JR チケット購入について  
障害者がチケット購入時に二度窓口へ行かなくてはならないというシステムについて、部会の一人が文章を作成し適切な箇所へ交渉する

★介護人派遣事業部

毎月第三木曜オープン会議 誰でも参加可能 (交流会や研修等)  
同行援護登録ヘルパー二名増

★レクリエーション

7 月 29 日 (日) カラオケ大会を昼間に行いました。23 名の参加があり、  
初参加の人や久しぶりに参加された方もおられました。  
お料理の会はミニ企画みたいな感じで定期的に行っています。

★障ちゃんニュース

8 月 28 日に発送予定

★まっち

テーマ 「今、自分に必要なもの」 締め切り 9 月末日 原稿募集中

★その他

事務所の掃除について

9 月 18 日 (火) に行う。食堂はお休みです。

次回運営会議日程 9 月 19 日 (水) です。 文責 福田



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、文福と他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

### ◎ ハンセン病訴訟勝訴17周年記念シンポジウム

今こそ考えよう ハンセン病

日時 9月28日(金) 18:30~21:00

場所 浄土真宗本願寺派 富山別院(西別院) 1階大ホール  
富山市総曲輪2-7-12 TEL (076) 421-6672

内容 講演 ハンセン病家族訴訟

原告 黄 光男(ふあん くわんなむ)さん

弁護士 神谷 誠人(まこと)さん

パネルディスカッション

パネリスト 黄 光男さん 神谷 誠人さん

コーディネータ 藤野 豊さん

(ふるさとネット顧問・敬和学園大学教授)

参加費 500円

主催・問い合わせ ハンセン病問題ふるさとネットワーク富山

事務局 真宗大谷派高岡教務所

高岡市丸の内2-15

TEL (0766) 24-0664

メール takaoka@higashihonganji.or.jp

### ◎ 日本と原発4年後～今こそ、世代を超えて語り合おう！日本の未来を。～

日時 9月29日(土) 13:00開場

13:30~15:50 映画上映

16:00~16:45 フリートーク

場所 サンフォルテ 307号室

参加費 500円

主催・お問い合わせ 富山市民放射能測定室「はかるっちゃ」

090-7083-8190 (道永さん)

共催 公益財団法人 富山県女性財団

### ◎ 重度訪問介護従事者養成研修「ザ☆カイジヨ」

・基礎課程 10月13日(土) 9:00~17:30

サンフォルテ 303号室

14日(日) 9:00~17:00

サンフォルテ 生活体験実習室(場所が変更になりました)

・追加課程 10月20日(土) 9:00~18:00

**富山県民会館 704号室**

**主催 NPO法人 文福 TEL (076) 441-6106**

**後援 富山県 富山市**

**賛同団体 富山YMCA、ダイケアハウスにぎやか CIL富山**

**※申込書は、前号に掲載しています。締め切りは、10月2日(火)です。**

◎ **見えない・見えにくい人のための生活便利グッズ 展示&相談会**

**日時 10月21日(日) 10:00~16:00**

**場所 チューリップ四季彩館 ホール2 (砺波市中村100番地1)**

**内容**  
◆展示コーナー 拡大読書器・よむべえ・白黒反転まな板ほか  
◆体験コーナー 喋ってくれるパソコン・スカイプなど  
◆相談コーナー 拡大読書器等の機器使用に関する相談など  
◆盲ろうコミュニケーション体験

**問い合わせ先 視覚障害者ITサポートとやま (Bitsとやま)  
TEL 090-2378-6944 (入江さん)**

◎ **共生地域福祉フォーラム「お互いさまの暮らしをめざして」**

**～今、わが町に求めるもの～**

**日時 10月21日(日) 12:30~16:40**

**場所 サンシップとやま 1階福祉ホール**

**内容**  
■祝・富山ケアネットワーク20周年  
■富山型コレクション! ファッションショー? 土俵入り?  
■祝・このゆびとーまれ20周年  
■パネルディスカッション  
■鼎談(ていだん)「日本の福祉の未来とは」

**主催 富山ケアネットワーク 資料代 1,000円**

**問い合わせ ダイケアハウスにぎやか(担当:太田さん)**

**TEL (076) 431-0466**

**FAX (076) 431-0486**

◎ **連続学習会 第三回目**

**日時 11月10日(土) 13:30~**

**場所 サンフォルテ 303号室**

**テーマ 「なぜ、障害者は子どもを産むことを許されないのか!?  
優生思想と現代」**

**講師 利光 恵子さん(立命館大学生存学研究センター客員研究員)**

**参加費 500円**

**主催 NPO法人 文福 TEL (076) 441-6106**

**※文福からのお知らせ**

季刊誌「まっち」原稿募集しています。テーマは「今、自分に必要なこと」  
締め切りは10月末日です。よろしくお願い致します。

